

「小児がんの肺転移に対する転移巣切除の効果についての研究」へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター外科では「転移性肺腫瘍」の患者さんを対象に「小児がんの肺転移に対する転移巣切除の効果についての研究」に関する研究を実施しています。肺転移に対する手術の効果については、手術をする施設そのものが国内では少ないため学会での報告や論文が少なく、世界的にも方針は定まっておられません。今後、手術を行っている施設がその成績を出すことで手術の意義が明らかになることが期待されるため、神奈川県立こども医療センターの手術成績をまとめて発表したいと考えています。この研究は、私たちが通常行っている手術の結果を調べるものであり、研究をしていることが、手術をするかしないかの判断に影響したり、手術の方法に影響することはありません。

研究課題名	小児がんの肺転移に対する転移巣切除の効果についての研究
研究の対象	2009年以降、2026年8月までに転移性肺腫瘍に対して手術を行った患者さん
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	目的は、小児がん肺転移に対する肺切除手術の効果を明らかにすること。方法は、診療録から下記情報を収集し、データの検討を行います。
研究期間	2023年9月7日～2026年12月
研究に使用する試料・情報の項目	患者さんの年齢、性別、腫瘍の病理診断、発症時期、化学療法や放射線照射、手術などの治療内容、採血結果、CT等の画像情報、再発の有無等
試料・情報の取得方法	診療録から取得します。
共同研究機関と研究責任者 試料・情報の提供先の機関 (名称と機関の長の名称)	本研究はこども医療センターのみで実施され、試料・情報の他機関への提供はありません。
本研究の情報の管理について責任を有する者・所属	外科 北河徳彦

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021年6月30日施行2022年3月10日一部改正）、個人情報の保護に関する法律等に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用し、個人情報外部に漏れることがないようにします。また、プライバシーにも十分に配慮して行います。

研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。本研究はどこからも研究資金を受けておらず、開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんご自身やご家族でお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。この研究においてはあなた又はあなたのお子さんの情報は使用しませんし、既に情報を抽出しているときは削除します。その場合も診療において不利益を被るこ

とはございません。

尚、統計解析開始後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
外科 北河徳彦
Tel : 045-711-2351 内線 2212

相談窓口 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-711-2351 内線 2212